第３号様式（第８条関係）

赤字：記入例
青字：記入方法等

（１面）

景観計画区域内における行為の届出書

年　　月　　日

提出書類が揃っていることを区担当が確認するまで、空欄としてください

杉並区長　宛

届出者（事業主）住　所　杉並区阿佐谷南１－１５－１

氏　名　杉並　花子　押印不要

（法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

※　杉並区受付欄

（注意）

１　※欄には、記入しないでください。

２　周辺状況等を表示する図面、周辺状況写真、位置図、立面図（４面以上、彩色が施されたもので、日本産業規格Z8721で定める色相、明度及び彩度の三属性の値（以下「マンセル値」という。）が表示されたもの）、景観計画で定める制限に対する措置状況を記載した書類等を添付してください。

３　設計又は施行方法の変更のうち、景観法第16条第１項の届出に係る行為が同条第７項各号に該当することとなるもの以外は、第５号様式により変更の届出をしてください。

４　行為の完了後、速やかに第４号様式により完了の届出をしてください。

【連絡先】　●●建築設計　担当：杉並太郎

電話：０３－３３１２－２１１１　ＭＡＩＬ：●●●●@●●.co.jp

※図面に関しての質問や届出受理通知の連絡に使用。名刺でも可

赤字：記入例
青字：記入方法等

（２面）

1　行為の場所 商業地系と住宅地系に跨る敷地の場合、両方にチェックを入れてください。	地名地番	杉並区阿佐谷南●丁目●●番●
	住居表示	杉並区阿佐谷南●丁目●番●号 ※住居表示が未定の場合は番までで可
	地区及び地域の別	□水とみどりの景観形成重点地区 （□善福寺川、□神田川、□妙正寺川、□玉川上水） ☑一般地域（☑商業地系、□住宅地系）

2　届出対象行為の種類、設計又は施行方法	届出対象行為	届出対象行為の内容	
	(1)　建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更（景観法第16条第１項第１号）	区分	新築・増築・改築・移転・外観の変更（修繕・模様替・色彩変更）
		用途：共同住宅	高さ：●● m　階数：● 階
		敷地面積：●●● m²	延べ面積：●●●● m²
		外壁色彩のマンセル値	外壁基本色　※外壁等に主に使用している色を記入 色相（●YR）　明度（　●　）／彩度（　●　）
			強調色　※外壁等で強調色を使用している際は記入 色相（●R　）　明度（　●　）／彩度（　●　）
			屋根色　※陸屋根の場合は記入不要 色相（●YR）　明度（　●　）／彩度（　●　）
		許可等を取得する他法令の名称　※確認申請は記入不要 都市計画法（第●条）	
		（大規模建築物の建築等に係る事前協議案件の場合） ※延べ面積3,000㎡以上の場合に記入 事前協議書受付番号：　第●●－●●号●●年　●月　●日	
	(2)　工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更（景観法第16条第１項第２号）	区分	新設・増築・改築・移転・外観の変更（修繕・模様替・色彩変更）
		用途	築造面積　m²
		高さ　m	
		外観色彩のマンセル値	外観基本色 色相（　　）　明度（　　）／彩度（　　）
		許可等を取得する他法令の名称	
	(3)　都市計画法第４条第12項に規定する開発行為（景観法第16条第１項第３号）	開発区域の面積　m²	構築する施設
		のり面及び擁壁の高さ　m	のり面及び擁壁の長さ　m
		許可等を取得する他法令の名称	
	(4)　土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更（条例第10条第２項第１号）	施行する土地の区域の面積　m²	構築する施設
		のり面及び擁壁の高さ　m	のり面及び擁壁の長さ　m
		許可等を取得する他法令の名称	

強調色については、「建築物等の色彩基準（杉並区景観計画Ｐ.96）」をご確認ください。
延べ面積3,000㎡未満の場合、基本色に該当しないものはすべて強調色となります。
※延べ面積3,000㎡以上の場合の強調色は、強調色欄に記載の範囲となります。

赤字：記入例
青字：記入方法等

	(5)　屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積（条例第10条第２項第２号）	施行する土地の区域の面積 m^2	構築する施設
		のり面及び擁壁の高さ m	のり面及び擁壁の長さ m
		許可等を取得する他法令の名称	
３　行為の期間		着手予定日　令和●●　年　●　月　●●　日 完了予定日　令和●●　年　●　月　●●　日	
４　景観に関する情報の提供	種　　別	☑説明会（　●　回）　☑個別訪問 ☐その他（　　）	
	情報提供を行った日又は期間	●●年●●月●●日～ ●●年●●月●●日	人数　●●　人 ※説明会出席の延べ人数や戸別訪問の人数、戸数を記入
	使用した図書	立面図、平面図、日影図 ※使用図書の名称を記入	
	出された意見及びそれに対する措置	※当該行為に関して近隣から出された意見（景観以外の意見も含む）とそれに対する措置を記入	
５　備考			

（1面）届出日と着手予定日は30日以上空ける必要があります。（景観法18条）
例：届出日が「R5/7/1」の場合、着手予定日は「R5/7/31」以降でないといけません。
※景観に影響のない根切り等の基礎工事については、期間に含めません。

①景観に関する情報か否かに関わらず、
　近隣住民への説明会や戸別訪問を行う場合にはご記入ください。
②届出後に実施する場合は、予定をご記入ください。
③実施予定のない場合は、未記入でも可です。

※この様式は、「景観形成重点地区（善福寺川・神田川・妙正寺川）
高さ 10m未満かつ延べ面積 500 ㎡未満」用です。

赤字：記入例
青字：記入方法等

水とみどりの景観形成重点地区の景観形成基準に対する措置状況説明書

善福寺川・神田川・妙正寺川沿い周辺地区　　高さ 10m未満かつ延べ面積 500 ㎡未満

（１）形態・意匠・色彩

①形態・意匠は建築物全体のバランスだけでなく水辺の自然環境や周辺建築物との調和を図る。

記載欄

壁面の位置や軒高を周辺建築物と揃え、周辺環境に馴染む形態・意匠とした。

②色彩は、まちなみに調和したものとし、「建築物等の色彩基準」（杉並区景観計画 P96）に定める基準に適合したものとする。

記載欄

川辺の環境に調和するよう、外壁はアースカラーを基調とし、アクセントに玄関扉をダークブラウンとした。
また、屋根は近隣の家に合わせ、ダークグレーとした。

（２）公開空地・外構・緑化等

①敷地内はできる限り緑化を図る。

記載欄

河川側に低・中木を配植し、川沿いの遊歩道から豊かなみどりが感じられるよう計画した。
また、計画地内に植えられているアオダモは、シンボルツリーとしてそのまま残した。

②塀や柵は、できる限り生け垣とする。

記載欄

道路沿いには生垣を設け、隣地からの連続したみどりを感じられるよう計画した。
河川側は木目調の縦ルーバーで緩やかに仕切り、圧迫感を与えないよう配慮した。

上記以外で特に景観に配慮した事項

記載欄

駐車場や設備類は生垣で目隠しになるような配置とした。

①措置状況説明書は区域・建物規模で異なりますので、対象の様式をご使用ください。

②措置状況説明書は杉並区景観計画に示す景観形成基準（P.72～96）に対する考え方を記載する様式です。
具体的な方針やイメージは、杉並区景観計画（P.57～68）を参照ください。
資料編（P138～151）には、配慮すべき内容やつくり方の基本を示しておりますので、併せて参照ください。

③記載いただく内容が図面と食い違わないようご注意ください。

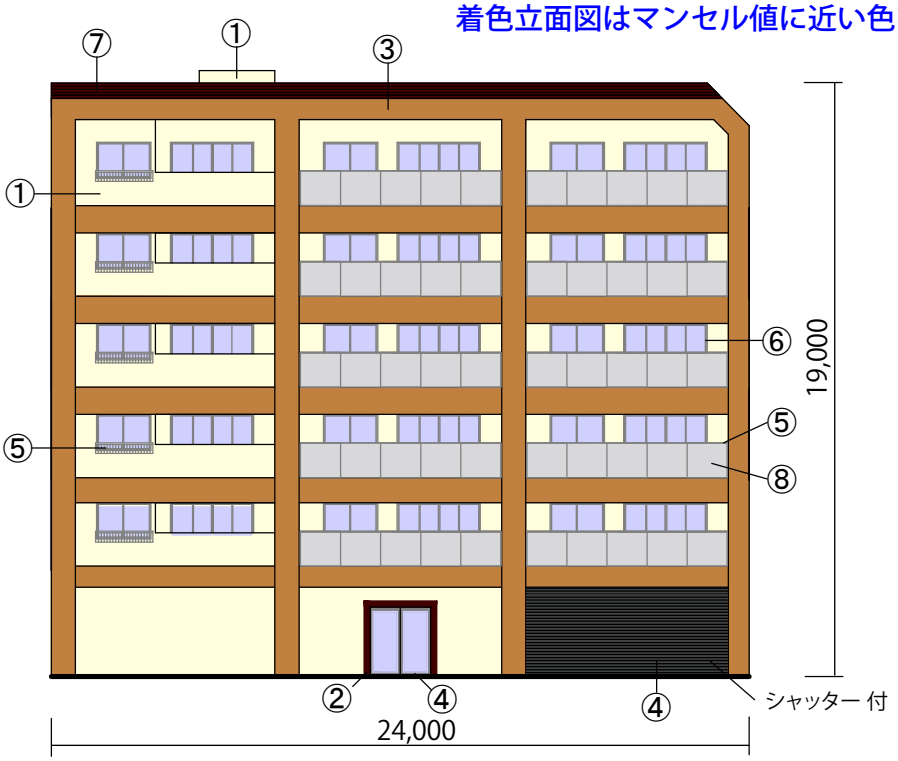
着色立面図（新築、増改築、移転）の記載例

４面以上記載してください

凡例

	外部仕上げ・使用材料等	マンセル値	備考		外部仕上げ・使用材料等	マンセル値	備考
①	外壁：二丁掛けタイル	１０ＹＲ９/１		⑤	アルミ製手すり	Ｎ７	
②	外壁：ボーダータイル	１０Ｒ２/２	強調色	⑥	アルミサッシュ	Ｎ７	
③	外壁：二丁掛けタイル	7.5ＹＲ６/４		⑦	屋根：アスファルトシングル葺	１０ＹＲ３/１	
④	ステンレス製シャッター、扉枠	Ｎ４		⑧	ガラス手摺　ガラス面 枠	Ｎ８．５ Ｎ７	

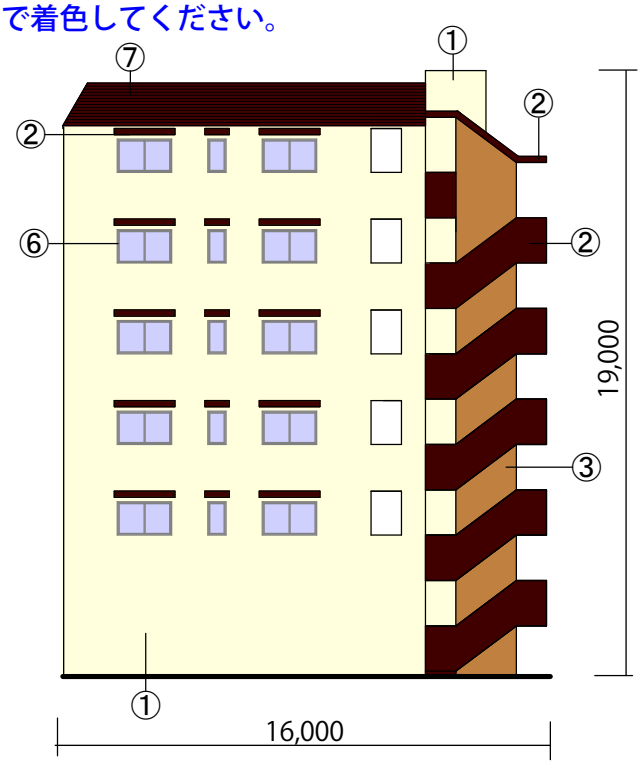
着色立面図はマンセル値に近い色で着色してください。



南立面図　１/１００

外壁面積（㎡）	強調色面積（㎡）
４４２．４３	１．４０（②）
１．４０/４４２．４３×１００ ＝０．３２%＜２０%　ＯＫ	

屋根面積は含めない



東立面図　１/１００

外壁面積（㎡）	強調色面積（㎡）
２７６．８７	３２．５７（②）
３２．５７/２７６．８７×１００ ＝１１．７６%＜２０%　ＯＫ	

注意事項

①強調色を使用する場合、マンセル値横に「強調色」と記入し、強調色面積割合を算出してください。

②シャッター付サッシの場合、立面図上に「シャッター付」と記入してください。
　また、スラットが強調色の場合、強調色面積はシャッターを閉じた状態で算出してください。

③無色透明以外のガラスについてもマンセル値(近似値可)を記載ください。

④設備機器についてもマンセル値(近似値可)を記載ください。

⑤着色立面図は原則影無しとしてください。

⑥ピロティ等の壁が抜けている箇所でも、奥に壁などがある場合は、着色の上、マンセル値を記入してください。

⑦破風・鼻隠しの色彩基準は、「屋根色」ではなく、「外壁」となりますのでご注意ください。

⑧太陽光パネルについてもマンセル値(近似値可)が必要です。
　色彩基準は、勾配屋根に設置する場合には「屋根色」、陸屋根に設置し、立面上見える場合には「外壁」の基準となります。

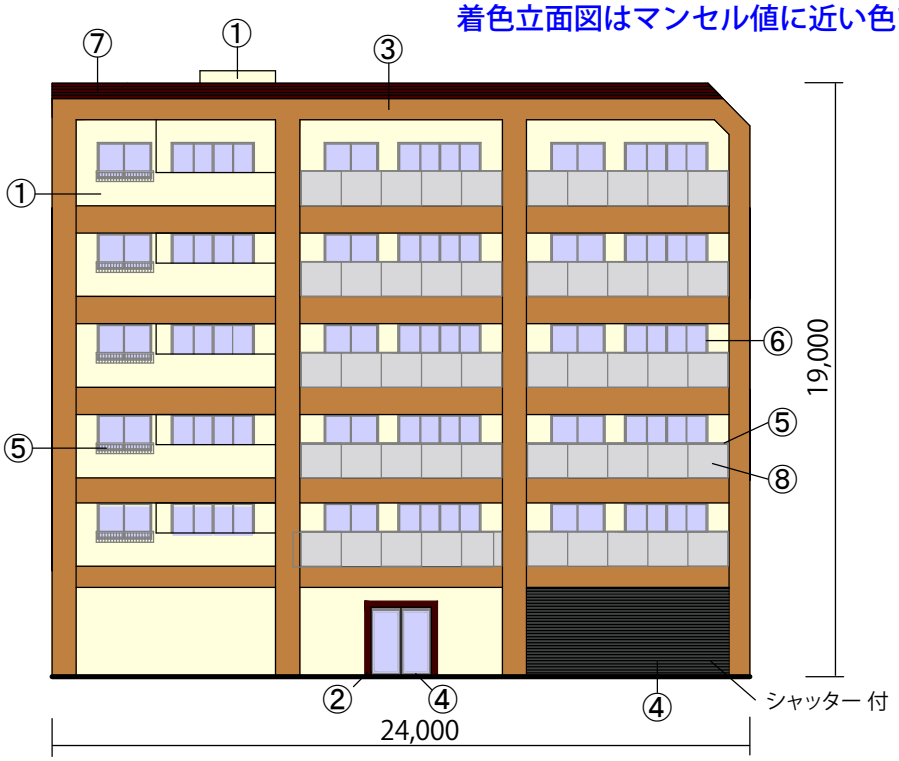
着色立面図（外観変更）の記載例

４面以上記載してください

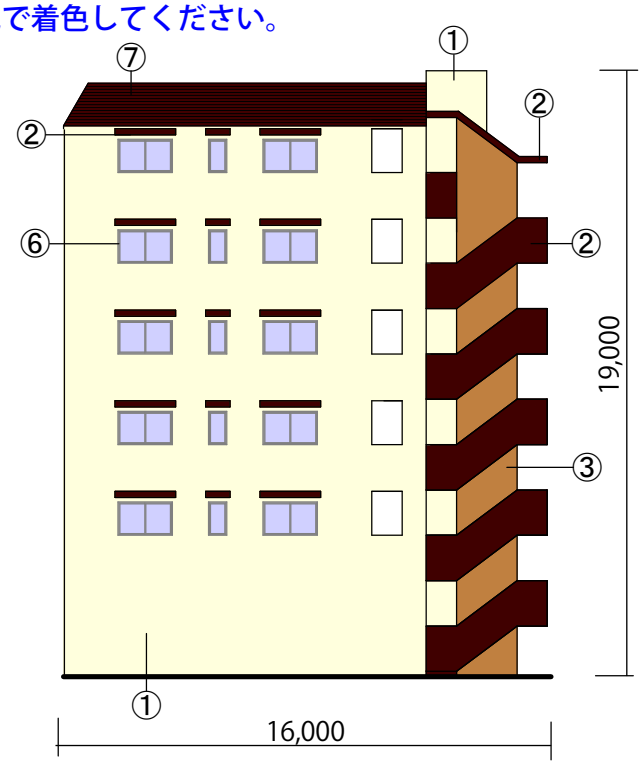
凡例

	外部仕上げ・使用材料等	マンセル値	備考		外部仕上げ・使用材料等	マンセル値	備考
①	外壁：二丁掛タイル	１０ＹＲ９／１	施工対象外	⑤	アルミ製手すり	Ｎ７	施工対象外
②	外壁：ボーダータイル	１０Ｒ２／２	施工対象外 強調色	⑥	アルミサッシュ	Ｎ７	施工対象外
③	外壁：吹付塗装	7.5ＹＲ６／４		⑦	屋根：アスファルトシングル葺	１０ＹＲ３／１	
④	ステンレス製シャッター、扉枠	Ｎ４	施工対象外	⑧	ガラス手摺　ガラス面 枠	Ｎ８．５ Ｎ７	施工対象外

着色立面図はマンセル値に近い色で着色してください。



南立面図　１／１００



東立面図　１／１００

外壁面積（㎡）	強調色面積（㎡）
４４２．４３	１．４０（②）
１．４０／４４２．４３×１００ ＝０．３２%＜２０%　ＯＫ	

屋根面積は含めない

外壁面積（㎡）	強調色面積（㎡）
２７６．８７	３２．５７（②）
３２．５７／２７６．８７×１００ ＝１１．７６%＜２０%　ＯＫ	

注意事項

①強調色を使用する場合、マンセル値横に「強調色」と記入し、強調色面積割合を算出してください。

②シャッター付サッシの場合、立面図上に「シャッター付」と記入してください。
また、スラットが強調色の場合、強調色面積はシャッターを閉じた状態で算出してください。

③無色透明以外のガラスについてもマンセル値(近似値可)を記載ください。

④設備機器についてもマンセル値(近似値可)を記載ください。

⑤着色立面図は原則影無しとしてください。

⑥ピロティ等の壁が抜けている箇所でも、奥に壁などがある場合は、着色の上、マンセル値を記入してください。

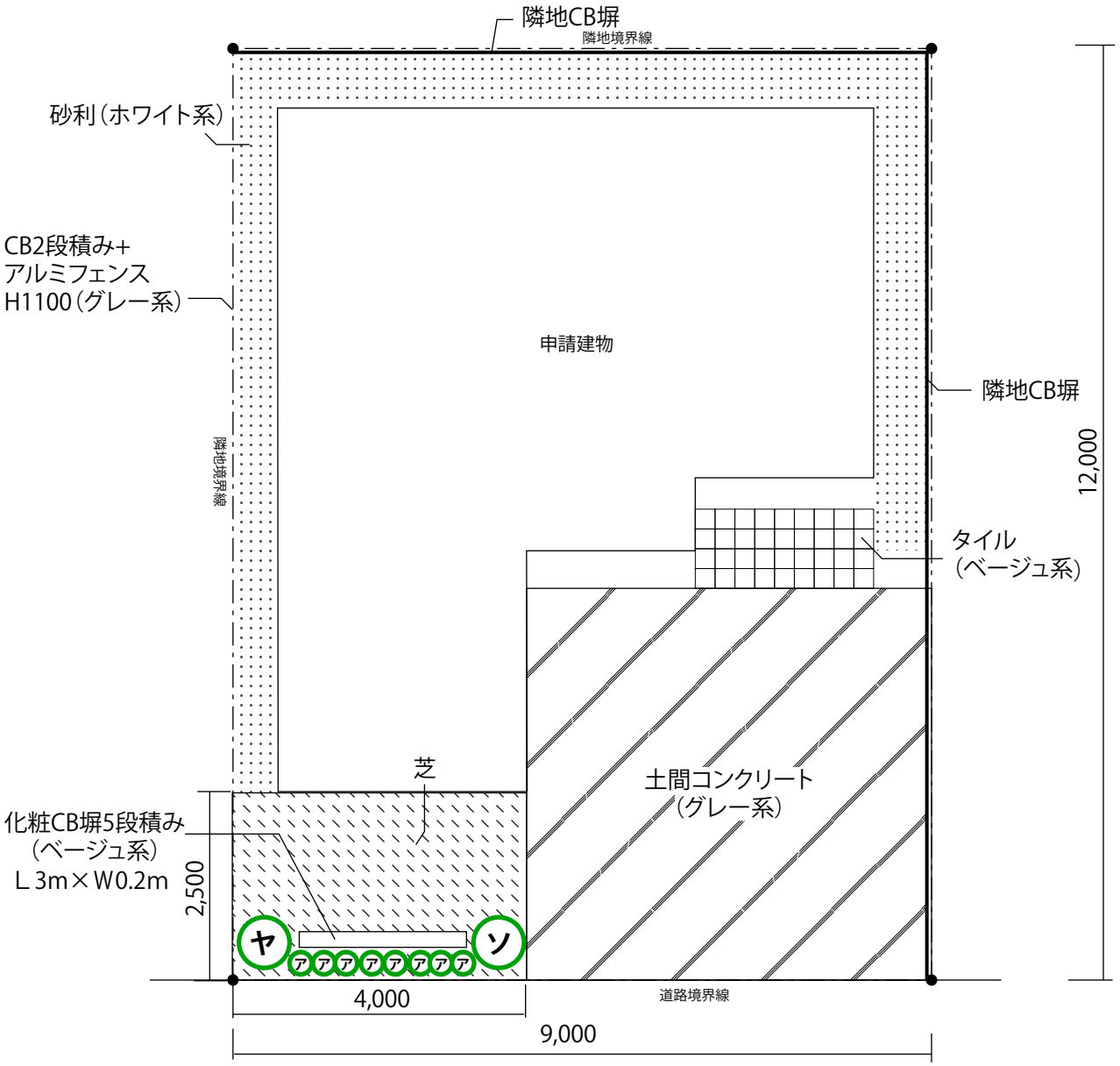
⑦破風・鼻隠しの色彩基準は、「屋根色」ではなく、「外壁」となりますのでご注意ください。

⑧太陽光パネルについてもマンセル値(近似値可)が必要です。
色彩基準は、勾配屋根に設置する場合には「屋根色」、陸屋根に設置し、立面上見える場合には「外壁」の基準となります。

⑨工事施工対象外は、備考欄に「施工対象外」と記載ください。工事施工対象外箇所が強調色の場合は、強調色面積割合に算出してください。

外構図・緑化計画図の記載例

※届出対象の場合のみ



中木	ヤマボウシ	1本	H=2.0m	W=0.8m
中木	ソヨゴ	1本	H=2.0m	W=0.8m
低木	アセビ	8株	H=0.5m	W=0.3m
地被	芝生	4m×2.5m＝10㎡		
		10㎡−0.6㎡＝9.4㎡		

植え付け時のサイズとなります

注意事項

①塀・フェンス・舗装等について、仕上・色・高さを記入してください。
着色は不要です。

②外構図や緑化計画図は配置図等にまとめていただいても結構です。

③植栽は杉並区みどりの条例に基づく緑化基準を満たしたものとしてください。
なお、緑化基準の詳細については、「緑化計画の手引き」を参照してください。

緑化計画の手引き